

## キッズコーナーを設置しています

センターの窓口の前に、子どもが楽しく過ごせるよう、キッズコーナーを設置しています。コーナーにある絵本やおもちゃは子どもたちのために、保育士が厳選したものです。窓口に来たときはぜひお子さんと一緒にご利用ください。



▲絵本やおもちゃを備えたコーナーです



## 子育てに関する困りごとや悩みがあればセンターへ

子育てといっても、妊娠、出産、0歳から6歳までの子育て期と、時期によって利用できるサービス、支援制度などが異なります。センターでは下の表のように、それぞれの時期に応じた子育て支援を提供します。また、必要に応じて関係機関につないでいくことで、総合的な子育て支援を実施します。

### 1歳以降

#### 子どもの広場の紹介

子どもに遊びや工作などを体験させたいときは、保育所や幼稚園のイベントを紹介します。



▲子どもの広場では楽しい時間を過ごせます



### 0歳

#### 赤ちゃん訪問

助産師や保健師が自宅に訪問し、体重測定や育児相談などに応じます。

#### 地域の子育てサロンの紹介

子育て中の人と知り合いたいときなどは地域の子育てサロンを紹介します。



▲子育てサロンは親子で参加できます

#### 乳幼児健診

子どもの健康を守るために生後4カ月と1歳6カ月、3歳の時期に問診や診察、育児相談などを行います。

健診は年齢に応じて行っています▶



### 出産

#### 産後ケアの案内

出産後にお母さんの心や体のケアが必要になったときは、産後ケアの利用を案内します。利用時は、費用の一部を補助します。



▲産後ケアでは体力の回復のため、栄養満点の食事が提供されます

### 妊娠中

#### 母子健康手帳の交付



▲母子健康手帳は個別に配布します

#### プレママパパ講座

はじめてお母さんやお父さんになる人を対象にした育児に関する講座を開催します。



▲プレママパパ講座では育児に必要なことを学べます

### 妊娠前

#### 成人風しん予防接種費用の補助

妊娠中に風しんにかかると、赤ちゃんが障がいをもって生まれてくる可能性があります。風しんの予防には予防接種が効果的です。



▲予防接種が必要な人を対象に、費用の一部を補助します



市では安心して子どもを産み育てることができ、喜びや楽しみを感じながら子育てできるまちを目指して、令和3年1月に「子育て世代包括支援センター」を市役所本館1階6番窓口に開所します。

問い合わせ 市子育て世代包括支援課 ☎ 34・3352

# 誕生！子育て世代包括支援センター

## 専門知識を持つ職員がサポート

「子育て世代包括支援センター（以下、センター）」とは、市子育て世代包括支援課内に設置する総合的な相談窓口で、妊娠前から子育て期を通じて切れ目のない支援を提供します。

これまで市では、さまざまな子育て支援の取り組みを行ってきましたが、子育て世代の人たちが持つ悩みやニーズは多様化しています。センターには、保健師や助産師、管理栄養士、保育士、社会福祉士を配置しています。これらの専門的な知識を持つ職員が子育てに関するさまざまな相談に対応します。また、上の表に掲載しているような子育て支援に関する事業を実施したり、制度やサービスを紹介したりします。

## センターは子育ての相談拠点

妊娠中から子育て期を過ごすお母さんたちは、不安や心配な

ことでいっぱいです。また、誰にも頼ることができず、育児中の孤独感や心理的・肉体的な負担を抱えている人もいます。そのようなときは、一人で悩まずに相談することが大切です。その相談拠点としての役割を担うのがセンターです。

センターでは利用者の悩みや不安に耳を傾け、安心して子育てに向き合えるように一緒に考えていきます。相談内容は「初めての妊娠で不安」「赤ちゃんが泣いてばかりでつらい」「授乳について相談したい」「離乳食の始め方が分からない」など、どんなことでも構いません。センターでは子育てに関するさまざまな情報を集約しています。そのため、相談者が必要としている情報をスムーズに提供できます。また、医療や福祉などの関係機関と連携し、手厚い支援が必要な人には個別の支援プランを作成し、継続的に支援を行います。

センターは子育てに関わる全ての人が利用できる場所です。皆さんの心のよりどころになる「頼れる相談場所」を目指していますので、気軽に相談ください。



▲子育てサービスマップ作成に取り組む共同研究メンバー

一つにまとめ、必要とする全ての人が簡単に入手できる環境を整えることが重要です。そのためには、子育てに関わる人の視点に立った、利用しやすい形での情報提供が求められます。そこで市では九州大学と共同研究を行い、市内で行われている子育て支援の情報をまとめた「子育てサービスマップ」の作成を進めています。このマップを、より市民目線で親しみやすいものにするため、サロンや子育て世代の人の意見を取り入れながら、利用者が分かりやすいものになるようデザインにもこだわっています。

今後も九州大学と連携し、

大学が持っている知識や技術を生かし、子育て支援を「充実化」させていきます。

さまざまな関係機関と連携を深めていくことは子育て支援の課題解決につながります。また、当事者である子育て世代の人たちとの連携も課題解決のヒントになります。例えば、昨年実施した子育てに関するワークショップでは「助産師さんと話せる場がほしい」との意見が出ました。そこで、令和2年4月から市に助産師を配置し「助産師なんでも相談室」を立ち上げています。また「子育てに関する制度やサービスが分かりにくい」などの意見を踏まえ「子育て支援アプリ（6・7ページ参照）」を導入し、子育てに関する情報を誰でも簡単に入手できるようにしました。

センターではこれからも切れ目のない子育て支援の実現と子育てしやすいまちを目指し、地域や子育て世代の皆さん、関係機関と共に取り組みを進めていきます。ご理解とご協力をお願いします。

## 子育て支援をデザインする

効果的な子育て支援を行うためには、利用者の視点を取り入れていくことも必要です。それを実現するための手法などについて、市と共同研究を行っている九州大学の平井康之教授に、子育てサービスマップ作成への思いや、今後の展開について聞きました。



フィンランドでは市民参加の行政サービスが進んでいます。特に子育てにおいては「ネウボラ」という、市民と行政が共働して行う子育てサポートプログラムがあります。九州大学では、2014年からフィンランドの研究者と子育てサービスデザインの研究をスタートしました。そして日本のフィールドとして福津市にご協力をいただいています。市民の皆さんにとって、分かりやすい行政サービスはどうあるべきか、フィンランドとの研究成果を生かす形で取り組んでいます。

日本の子育て支援の施策は、多部署にわたり、複雑で分かりづらくなっています。そこで市民の視点から行政サービスを一望できるサービスマップをデザインしました。どのような行政サービスがあるのか、妊娠時から6歳までの時間軸の中で、地図のように見やすくまとめています。このような子育てを楽にするデザインを、皆さんと知恵やアイデアを出しながら進めていきたいと考えています。今後は「こどもの国」のホームページや子育て支援アプリと連動し、多様な入り口から双方向のコミュニケーションを実現していきたいと考えています。

## センターが目指す子育て支援ネットワーク

センターが子育て支援の中核を担いつつ、関係機関と連携を図り、全ての子育て世代の人に必要な支援を届けます。



### 関係機関との連携で効果的な支援を実現

切れ目のない子育て支援を行うためには、センターだけで

はなく、地域の団体が行っている子育て支援の取り組みも含めて、さまざまな関係機関と協力体制を構築し、連携を図っていくことが必要です。センター

# 子育てをみんなで支える

子育て世代の人たちを切れ目なく支援していくためには、センターがさまざまな関係機関と連携を図ることが必要です。センターではそのためのネットワークの構築を進めています。ここでは、地域の「子育てサロン」「大学」との連携について紹介します。

### 子育てサロンは重要な連携先

と関係機関のネットワークができることで、手厚い支援を必要とする子どもや保護者の早期発見、子育てに携わるそれぞれの人に応じた支援の提供など、効果的な子育て支援が可能となります。

現在、センターがネットワークの構築を進めている団体の一つに地域の「子育てサロン（以下、サロン）」があります。サロンは地域のボランティアの皆さんが運営していて、同年代の子と遊ばせたり、子育て中の親同士が出会ったりすることができる場所です。センターでは、子育てで困っているサロンの利用者がいれば、センターへつながり体制をつくることを目指しています。また、センターがサロンのような場所を求める相談を受けた際、サロンを紹介するこ

### 大学の力を子育て支援に生かす

センターは子育て支援に関する総合的な相談窓口を目指していますが、それには情報収集と整理が必要です。しかし、子育て支援はさまざまな機関が実施していて、内容は多岐にわたります。それらの情報を

とも行っています。

子育て支援を必要とする人の、不安や困りごとなどを早期に発見し、問題が生じる前に予防的に関わっていくためにも、日ごろからサロンなどとの連携をより一層強化していきます。



サロンを運営する皆さんとの意見交換会▶

## オンライン保健指導が スタートします

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、集団での「母親学級」や「育児相談」が中止になりました。そこで、妊娠中の人や、乳幼児の保護者が相談できる予約制の「オンライン保健指導」を始めました。これは相談者の悩みなどに、専門的な知識を持つ市子育て世代包括支援課の助産師や保健師、管理栄養士、保育士などがテレビ会議システムなどを利用し、個別に対応するサービスです。

子育て支援アプリ「こどもの国」や電話で予約できます。



▲家に居ながら専門知識を持つ職員に相談できます

## 子育てサービスマップを 配布します

5 ページで紹介した子育てサービスマップを令和 3 年 1 月 4 日（月）から、市内の公共施設などで配布します。詳しい配布場所などについてはお問い合わせください。



▲子育てに役立つ情報が盛りだくさんです

## ポイント 3

### 子育てに関する 情報が手に入る！

健診のお知らせや育児講座の案内などが届きます。予防接種のスケジュールも予定日に合わせてお知らせします。



## 利用方法

### 今すぐ子育て支援アプリを はじめましょう！

#### 1 アプリをダウンロード！



※Apple、Apple ロゴは米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。  
App Store は Apple Inc. のサービスマークです。  
※Google Play および Google Play ロゴは、Google Inc. の商標です。

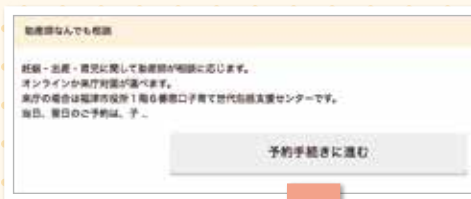
私も登録してみようかな

#### 2 出産予定日 または お子さんの情報を登録！

## ポイント 1

### 窓口の予約が簡単にできる！

子育て相談や母子健康手帳の交付などの窓口の予約が、スマートフォンなどから簡単にできます。



#### 子育て世代包括支援センター

| 実施日\時間帯<br>(受付時間)                         | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 |
|-------------------------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2020年10月20日<br>(9/20 12:00 ~ 10/13 17:00) |      |       |       |       |       |       |       |
| 2020年10月21日<br>(9/21 12:00 ~ 10/14 17:00) |      |       |       |       |       |       |       |
| 2020年10月22日<br>(9/22 12:00 ~ 10/15 17:00) |      |       |       |       |       |       |       |
| 2020年10月23日<br>(9/23 12:00 ~ 10/16 17:00) |      |       |       |       |       |       |       |

## ポイント 2

### 子どもの成長を 簡単に記録できる！

子どもの体調や成長の様子が写真付きで記録できます。健診や予防接種の記録なども、デジタル化して保存できます。電子母子手帳の機能もあります。



福津の

子育て支援アプリを利用しませんか



市では、令和 2 年 12 月から無料の子育て支援アプリ「こどもの国」を導入し、妊娠・出産・子育て期に合わせた子育て支援の情報の配信を行っています。  
便利な機能もありますので、子育てにぜひ活用ください。  
※利用料金は無料ですが、別途通信料がかかります。

